

「コロナに負けるな！」



まもるポ

Vol.9
2022.8月

『京都市の財政を守る』 京都市は財政破綻しません

「京都市が財政破綻するのではない」といつた心配の声がありますが、京都市は、令和4年度予算において財政健全化への道のりを示しており、行財政改革計画を着実に実行することにより、確実に財政健全化を達成することができます。私も行財政改革計画の遂行に向けて、引き続き議会で、責任のある議論を行なっていきます。

● 財政健全化の令和4年度 予算での到達点と今後の 展望

ア 令和3年度、4年度は、リーマンショック並みと危惧された市税収入の減少を回避できる見込みに加え、令和4年度予算については、行財政改革計画の策定後、最初に編成した予算として、歳出を計画で定めた上限以下に抑制したことで、計画の試算を上回って収支を改善することができました。

イ 令和5～7年度においても行財政改革計画を着実に達成することにより、令和7年度末の公債償還基金残高を1330億円以上と、現行水準を維持。公債償還基金枯渇の危機を確実に回避します。

ウ 行財政改革計画の取組は、令和8年度以降にも効果が表れ、投資

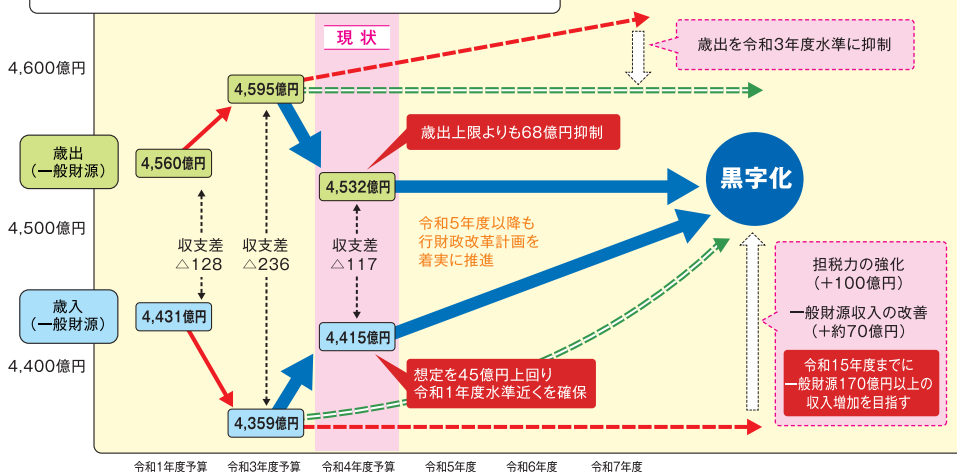
的経費の市債の発行を年平均400億円に抑制、令和8年度以降も継続することで、高止まりが続いている公債費を令和7年度から15年度にかけて100億円減少させます。

エ 人件費については行財政改革計画に基づき、令和7年度時点で見込まれる、他都市平均との乖離90億円を令和15年度までに解消します。

オ 公債費、人件費などの固定費を減少させるとともに、都市の成長戦略を推進し、一般財源収入を令和元年度予算の水準から更に、100億円増加させることにより、令和8年度以降も続く、社会福祉関連経費の増加に対応したうえで、収支不足を圧縮します。

カ まずは行財政改革計画の着実な達成に全力を挙げ、令和5年度までの集中改革期間終了後に、コロナ禍の収束状況と行財政改革計画の達成状況を

行財政改革計画における財政収支の目安と令和4年度予算の到達点



京都市が令和2年12月に示した歳出歳入予測財政破綻の危機

財政破綻の危機

京都市が定める行財政改革計画 ※歳出上限ラインを約4,600億円に設定

自民党議員団の提言等により実現した令和4年度予算、これからは強い意志を持って黒字化を目指す。

踏まえ、中期収支試算の再算定を行い、財政運営の目標を改めて設定し、令和15年度までとされている公債償還基金の、計画外の取崩しからの脱却について、時期を前倒しします。

歳出歳入の収支差マイナスからの一刻も早い脱却を目指し、持続可能な京都市財政の確立へ。

森田 守 プロフィール

昭和50年 6月15日生まれ
平成6年 同志社香里高等学校卒業
平成10年 同志社大学法学部法律学科卒業

平成10年 株式会社セブン-イレブン・ジャパン
平成16年 参議院議員二之湯智秘書
平成27年 京都市会議員初当選

平成31年 京都市会議員2期目
家族構成 妻、娘3人、息子2人、猫4匹
趣味 スキー、アウトドア、マラソン

